

ベトナム・ダナン市の美術館建設

設計業務を受託

熊本市中央区の建築設計事務所「ライト設計」（今坂晋典社長）がこのほど、ベトナム・ダナン市が建設する美術館のデザインコンペで優勝、設計業務を受託する。同社は「これを機に、海外展開を積極化していききたい」としている。

同社によると、コンペにはベトナム国内の42社と同社が応募。3社に絞った後、ネット上での人気投票などを経て、同社

が選ばれた。6月中にも同市と設計業務の委託契約を結び、9月の起工式を目指して設計を進める。

設計する「ホアン・サー美術館」は、ダナン市に属する西沙諸島に関する美術品や資料を展示する施設。鉄筋コンクリート4階建て延べ床面積840平方メートル。建物の中心部に吹き抜けを設け、同諸島に立てられていた石柱を展示する。外観にはベトナム国旗の星をあしらう。建設費は約2億円の見込み。

設計は、ベトナム出身で同社従業員のグエン・クアンさん(31)らが担当した。クアンさんは「母国で挑戦しがいのある仕事ができ、幸せです」と喜んでいる。

建設に向けた海外での設計業務は、同社として初めて。同社は「経済成長が著しい海外での受注を増やしたい」と話している。

(鹿本成人)

ベトナム・ダナン市が建設するホアン・サー美術館の外観イラスト。熊本市のライト設計が設計業務を受託した(同社提供)

